

フィリピン・ジューガーショー

2017年11月11日(土)快晴のもとでフィリピン・ジューガーショーが開催されました。会場は、マニラ近郊のアヤラ アラバング(マニラから車で一時間弱で、今年2月にランデスジューガー展が開催された同一会場)、環境は展覧会にもってこいの素晴らしい所です。審査員は2015年2月のSVJ九州ランデス展に来日した経験もあり、2017年SVジューガー展で若犬牝を審査担当した、ルードヴィッヒSV審査員が、前週の韓国ジューガーショーでの審査の後、ドイツに帰国せずに韓国から空路フィリピンに来られた。

私は、昨年と今年のフィリピン・ジューガーショーを二年連続で観ました。そして驚いています。というのは、近年のアジア各国におけるドイツシェパードの展覧会では、出陳頭数が減少しています。しかし、フィリピンでは逆に増えているのです。昨年は約80頭でしたが今年は約150頭。なんと約倍に増えています。この一年でフィリピン国内で盛んに繁殖が行われ、またドイツをはじめヨーロッパ各国から輸入された犬も多数います。全体のレベルも上昇しています。まるでフィリピン経済を象徴しているようです。現在フィリピンは経済成長が著しく、それに伴ってドイツシェパードの増加にも繋がっているようです。ここフィリピンでは、ドイツシェパードを飼う人はかなりの高額所得者です。しかし、今後も愛犬家は増加していく気配を感じます。

簡単ではありますがフィリピンのDSH事情のご報告です。

SVJ 審査員 武田宏司 Takeda Hiroshi



